

僕だって高校に入れたよ！

あすきの会 会長 明石洋子

(明石徹之)

僕の名前は徹之、みんなは「テッチャ」と呼んでいます。ひょうきんラッパンです。福岡の大朝寺はあちやんか、僕が二才の時、発達に遅いかあると診断して以来、ずっと障害児をやっています。べそうそう卒業したいなあ。

僕が固執したり、パターン化した行動をいつもとるので、それをママは利用して、例えは水への固執を風呂掃除や料理づくり、また逆にパターン化すれば賞えるとわかっていたので、交通ルールや基本的生活習慣(あいさつ等)、学校の勉強や時間等々、ふつうの子の10

徹之高一

文集「さいわい」オ13号

倍も10倍もかかったんですけど、例外を作らず(僕が混乱しない為に)一つ一つパターンにわけ、喉々に寝た身につけさせてくれました。おかげで16才の今は、自分のことは自分でできるだけでなく、家の手伝いも、やおや、あおやら(四月一日から作業所になる)の配達も、一人で荷物をお客さまに届けてお念ふつりの計算も)をもらって、くることになって、できるし、妹の日は好きは場所旅行を楽しむこともできるようになりました。これもママが地域の人に働きかけて、地域の人々が協力して僕にいろいろ教えてくれたおかげです。

昨年義務教育を終え、進路を選ぶ時どうしても皆と同じように高校に行きたいとママに頼み、ママはとても苦勞し

たよりですか(昨年のもいわけの文集に
その頃の気持がのってまふ。その文は
そのまゝか、おぐさま」に掲載されまし
た)。周りの方々の支えがあつて、無事
川崎市立川崎高校に入学できました。
川崎高校はとてもすばらしい学校です。
クラスでは図書委員を引き受け、山岳
部の活躍してまふ。昨年は四つの山
に登りました。30kmのリエージュを背負
つてテント合宿もしました。皆かへト
へトに打つても、僕だけとても元気な
ので山岳部でも職員室でも話題になつ
てしまひました。定時制高校はママと
同じ他の年令の人もいて、皆とても親
切です。先生方もきめ細やかな指導を
してくれるので授業もよくわかりまふ。
高校に入つて初めて、勉強しなひと

留年や退学があるということを知りま
した。僕は先生もクラスメイトも大好
きなので、落才や退学はしたくありま
せん。だから一生懸命勉強しました。
ママが「目的意識が芽生えて、自覚性
かできてうれしい」ととても喜んで
います。数学は得意で、今では誰にも
まけません。入学時に「学業や生活面
で高校生として無理なようでしたら、
一学期をやめていたたくこともありま
す」と、念をおさくれたようひすか。僕
は一日も休まず通学したし、落才も却
もやり、成績も上位で、模範学生だと思
います。ママも中学の先生もびつク
りしてまふ。もちろんスムーズに二年
生に進級できません。高校のすばらしい
環境が、僕に、やる気という力を与え

してくれました。この一年、刺教かいっ
 ぱいど多くのことを学びました。あた
 りまごの社会の中で生きることが、結
 術一番成長するようです。本当に高校
 に入れたよかったです。思っています。僕は
 今、青春の真っただ中に行きます。高校
 まで最高のです。

